

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	みんなで取り組む鳥獣に負けない地域づくり事業
事業主体 (連絡先)	大町市 産業観光部農林水産課 0261-22-0420 (内線 662)
事業区分	6 (イ)
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,629,340 円 (うち支援金 : 2,020,000 円)

事業内容

- ・GPSを活用して効果的に駆除できるシステムの構築
- ・GPSの生態調査のデータを基に追払いに地域住民が積極的に参加できる体制づくり
- ・GPSを活用し、サルの行動範囲を把握しながら、効果的・効率的に大型捕獲檻で捕獲(駆除)を行う。
- ・大型捕獲檻の導入
- ・サルにGPS発信機を装着させての生態調査

(活動写真)



【大型捕獲檻】

【目標・ねらい】

- ① 住民が積極的に参加できる体制づくり
- ② 住民、猟友会、大町市の連携づくり
- ③ 効率的な駆除(捕獲)
- ④ 長期的な事業の継続の構築

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・ニホンザルの被害は年々増していく一方の中、中々有効な対策がなく苦勞していた。今回のGPSによる行動範囲がPC等で見える化されたことや、大型捕獲檻の導入により地域住民、猟友会、大町市が追払いや駆除(捕獲)を連携しながら効率的に行えるようになったことで、被害が減少した。

※自己評価【 A 】

【理由】

市民の協力体制の構築及びニホンザルの捕獲(駆除)が実施できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・今回の事業は、長期的に継続して行くことが大事。市民、猟友会、大町市の連携が大事であることから、定期的及び、必要に応じて研修会や状況の聞き取り調査等を行い、効果的・効率的に継続して行く。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある